



©Shinichiro Saigo

## 中村 蓉 (なかむら・よう) 【ダンス】

【作品タイトル】『夜明けのメドレー』

立川談志さんはこう言いました。「落語とは人間の業の肯定である」と。  
ダンスは人間の何を肯定してくれるのでしょうか？  
どこかで聴いたことのある音楽をダンスで渡り歩く 15 分間。  
きっと、人間の喜怒哀楽を肯定する時間になると思います。

【プロフィール】

早稲田大学在学中にコンテンポラリーダンスを始める。国際芸術祭あいち 2022、シビウ国際演劇祭など国内外で作品を上演。向田邦子やウィリアム・シェイクスピアなどの小説や戯曲を原案にしたダンス作品を多く創作している。また、サンリオピューロランドのショー「Nakayoku Connect」、sumika「MAGIC」ミュージックビデオ、北九州市芸術文化振興財団職員が踊るオリジナルダンス「財ダンス」など幅広く振付を手掛ける。近年では東京二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『セルセ』『デイダミーア』の演出・振付を担当。演劇集団円付属「円・演劇研究所」身体表現クラスを担当するなど、分野を超えて活躍できる表現者の育成にも力を入れている。横浜ダンスコレクション EX2013 審査員賞、第 5 回エルスール財団新人賞などを受賞。